

令和6年度 栃木県こどもモニター
第2回アンケート結果
(保護者)

調査実施の概要

1. 栃木県こどもモニターってなに

栃木県は、こどもに関する施策を考えて実現するため、こどもや若者、保護者の意見やアイデアを継続的に集め、政策に取り入れることを目的として「栃木県こどもモニター」を募集します。

モニターのみなさんには、栃木県についてのアンケートから意見を収集し、これからの栃木県の施策やルール作りにつなげていきます。

もっと暮らしやすい栃木県になるように、いっしょに考えましょう！

2. 第2回アンケート期間

令和6年8月21日（水曜日）から9月20日（金曜日）

3. アンケート方法

アンケート対象者にメールで回答 URL を送付、WEB サイトを通じてアンケートに回答。

4. モニター数

257名

5. 第2回アンケート回答者数

245名

6. 第2回アンケート回答率

95.3%

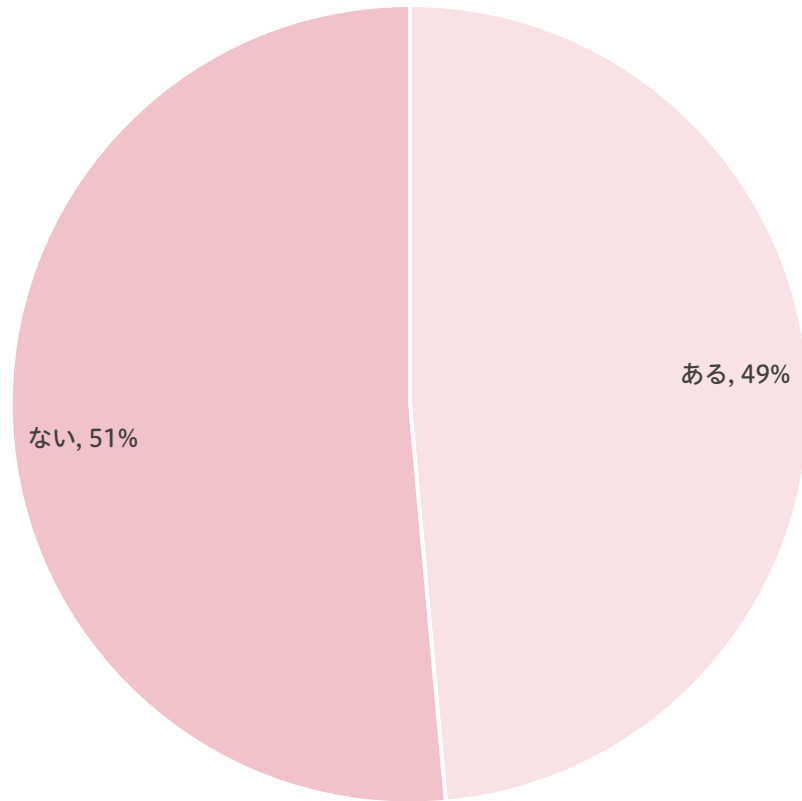
※「その他」を選択した場合の自由記述欄は原文のまま掲載しています。

性別	アンケート 対象者	回答人数	構成比	回答率
男性	25	22	9.0%	88.0%
女性	231	222	90.6%	94.1%
その他	1	1	0.4%	100.0%
合計	257	245	-	95.3%

年齢	アンケート 対象者	回答人数	構成比	回答率
10代	0	0	0.0%	0.0%
20代	15	13	5.3%	86.7%
30代	111	105	42.9%	94.6%
40代	97	94	38.4%	96.9%
50代	34	33	13.5%	97.1%
60代	0	0	0.0%	0.0%
70代以上	0	0	0.0%	0.0%
合計	257	245	-	95.3%

※ 集計結果は百分率(%)で示し、小数点以下第2位を四捨五入して算出したものになります。
そのため、合計が100%にならないものがあります。

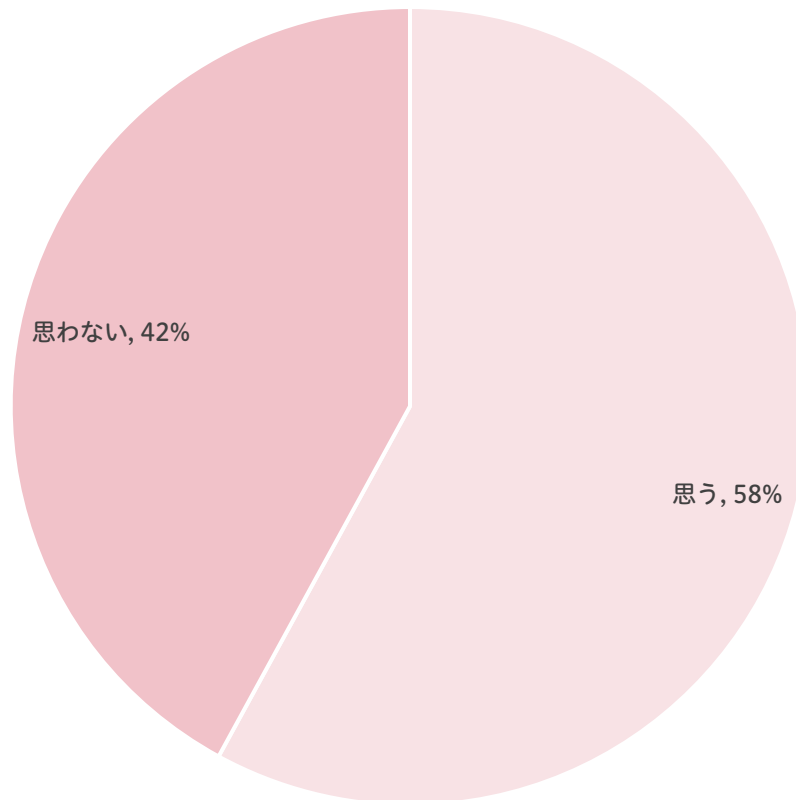
Q1.河川や池、湖での釣りをしたことがありますか。



【調査結果の概要】

「ない」(51%)が「ある」(49%)と答えた人よりわずかに多くなっている。

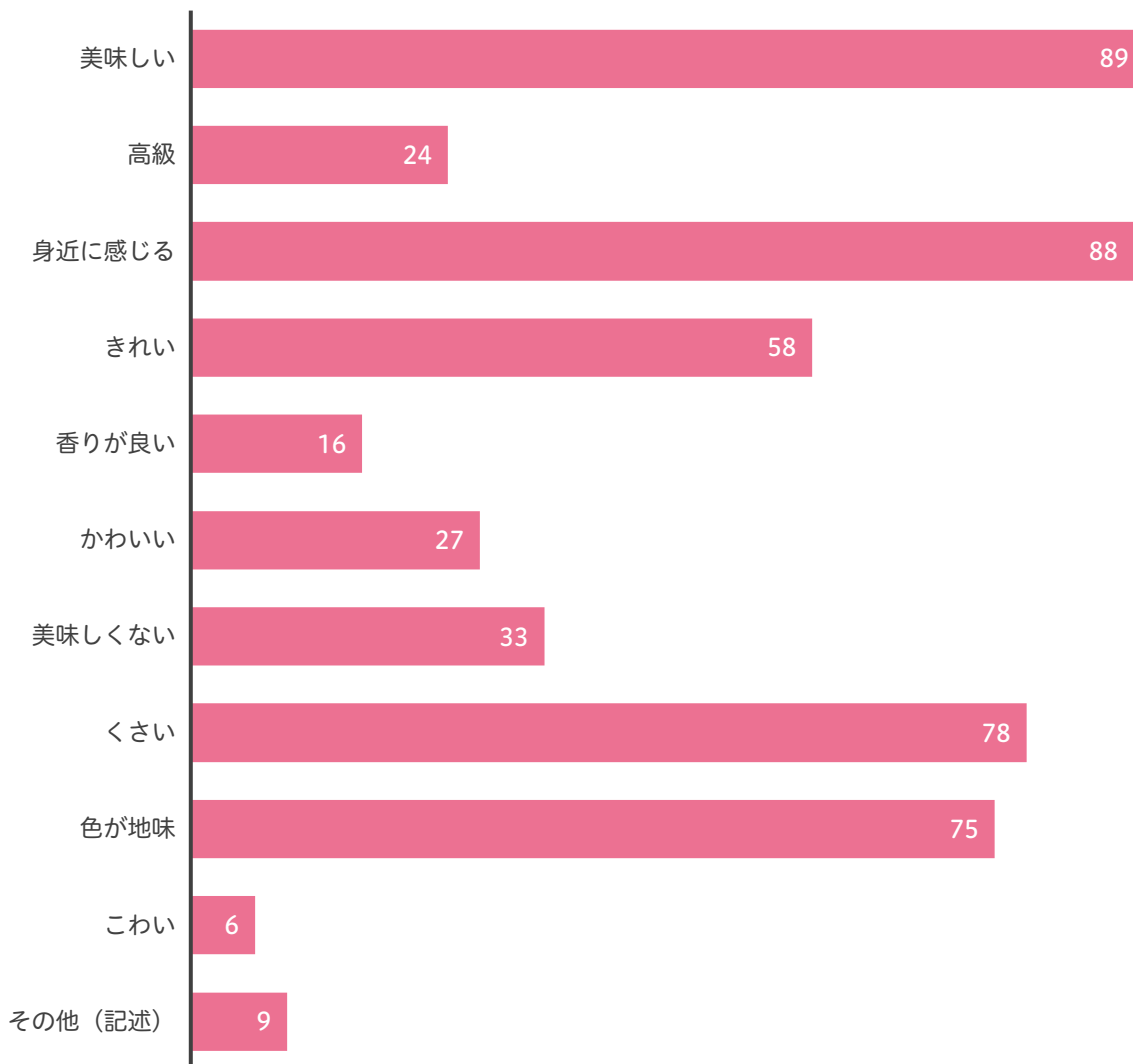
Q2. 河川や池、湖での釣りをしてみたいと思いますか。



【調査結果の概要】

「思う」(58%)が「思わない」(42%)と答えた人よりわずかに多くなっている。

Q3.あなたの淡水魚に対するイメージを教えてください。【3つまで選んでください】



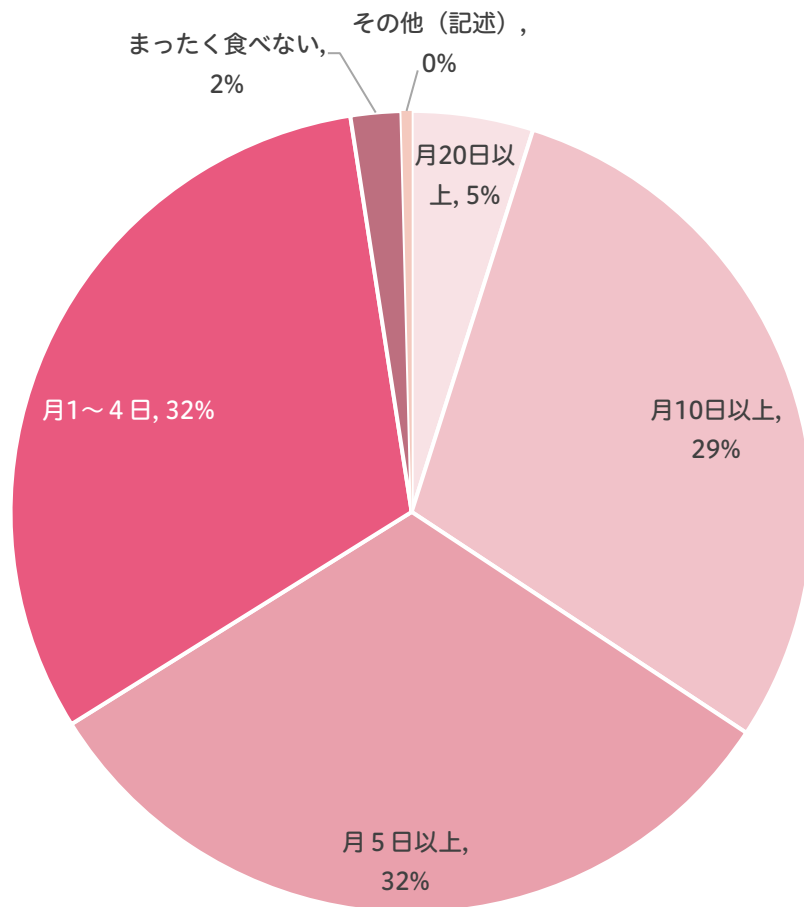
【調査結果の概要】

「美味しい」（89件）が最も多く、以下、「身近に感じる」（88件）、「くさい」（78件）などと続いている。

【その他の自由記述】

- ・ 骨が多い食べにくい
- ・ おじさんたちが釣りをしているイメージ
- ・ ぬるぬるする調理法がわからない
- ・ 小さい
- ・ 川魚のイメージが強いため
- ・ 旅館で提供される
- ・ 小骨が多い
- ・ わからないなど 4件

Q4.魚を月に何回食べますか。



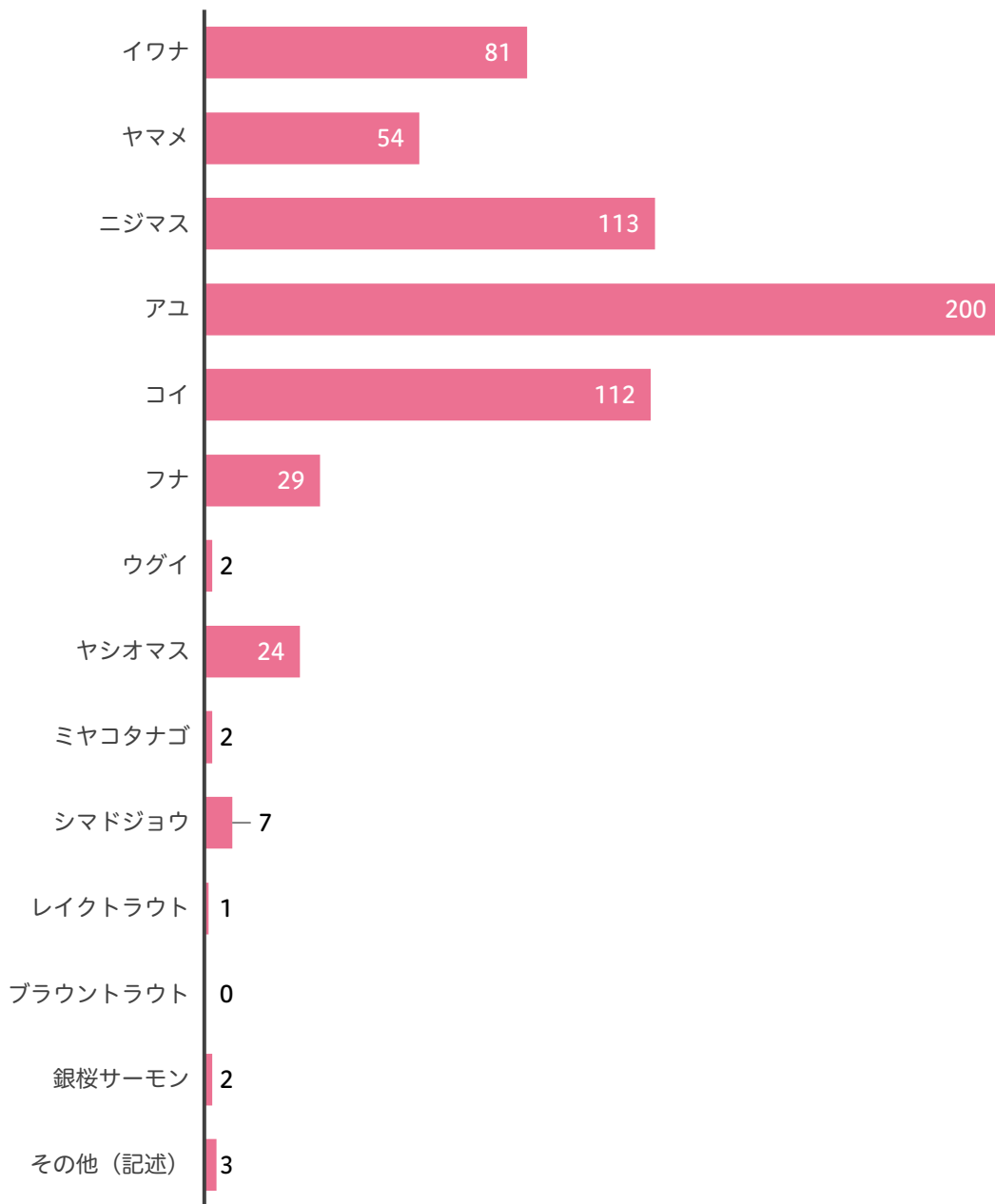
【調査結果の概要】

「月に5日以上」(32%)と、「月1~4日」(32%)が多く、「月10日以上」(29%)と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ 半年に数回

Q5.河川や池、湖の魚の中で身近に感じる魚はどれですか。【3つまで選んでください】



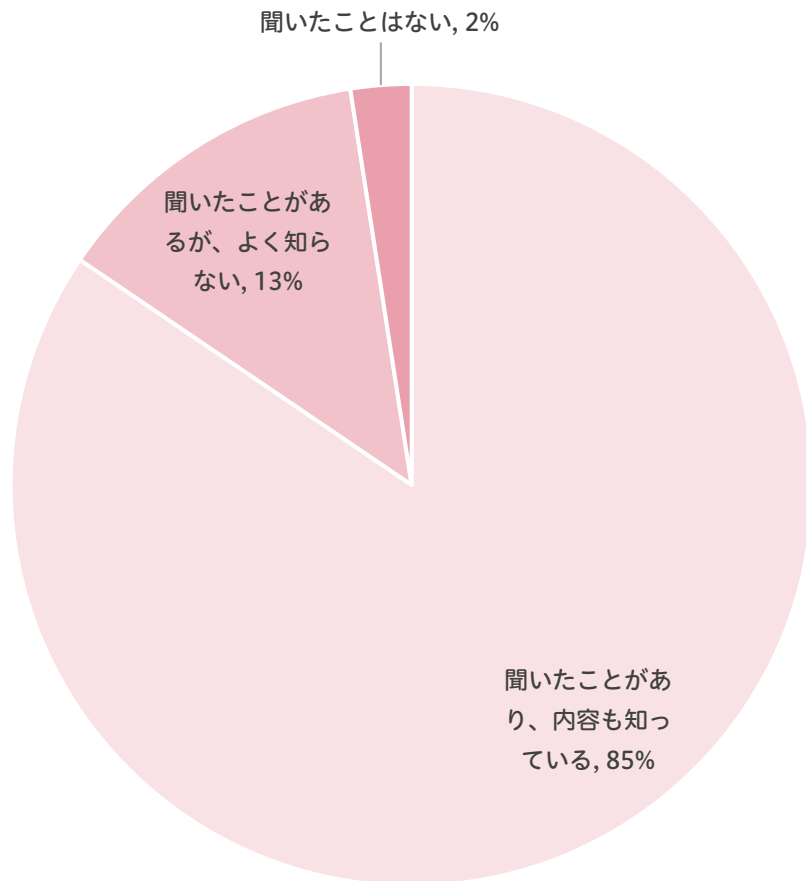
【調査結果の概要】

「アユ」(200件)、が最も多く、以下、「ニジマス」(113件)、「コイ」(112件)などと続いている。

【その他の自由記述】

- ・ ブラックバス
- ・ 普通のサーモン
- ・ ハヤ、ヤマベ
- ・ ナマズ

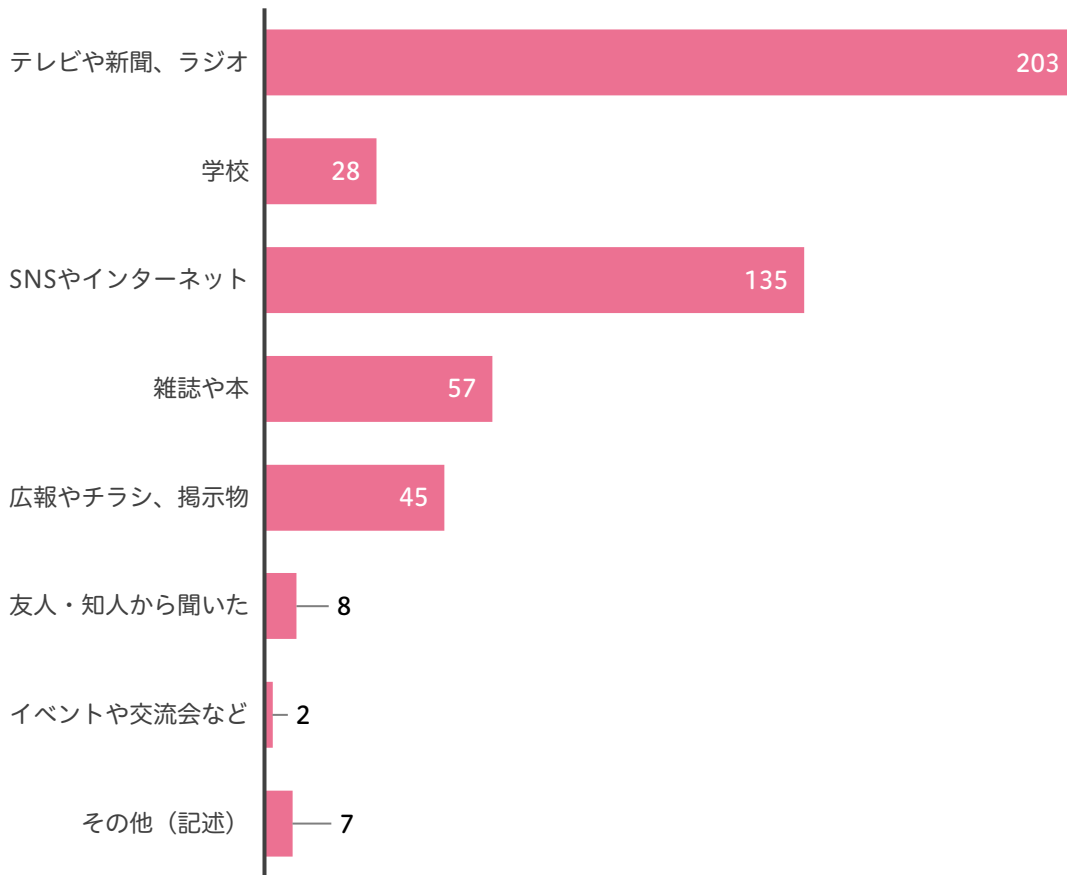
Q6. 「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありますか。



【調査結果の概要】

「聞いたことがあります、内容も知っている」(85%)が最も多く、以下、「聞いたことがあるが、よく知らない」(13%)、「聞いたことはない」(2%)と続いている。

Q7.「Q6」で、「聞いたことがあり、内容も知っている」「聞いたことがあるが、よく知らない」と回答した方にお聞きします。「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。【いくつでも選んでください】



【調査結果の概要】

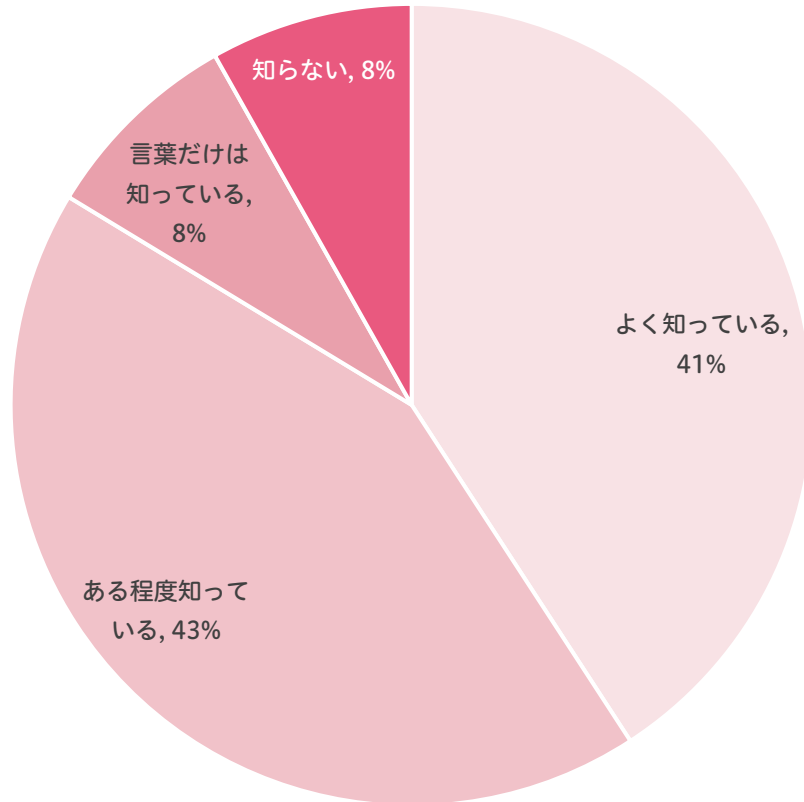
「テレビや新聞、ラジオ」(203件)が最も多く、以下、「SNSやインターネット」(135件)、「雑誌や本」(57件)と続いている。

【その他の自由記述】

- 覚えてない
- 子供の夏休みの宿題の、課題図書の一つにヤングケアラーに関するものがあり、それを読んで感想文を書いていた。
- 仕事、職場など 5件

Q8.市販薬のオーバードーズ（過剰摂取）を知っていますか。

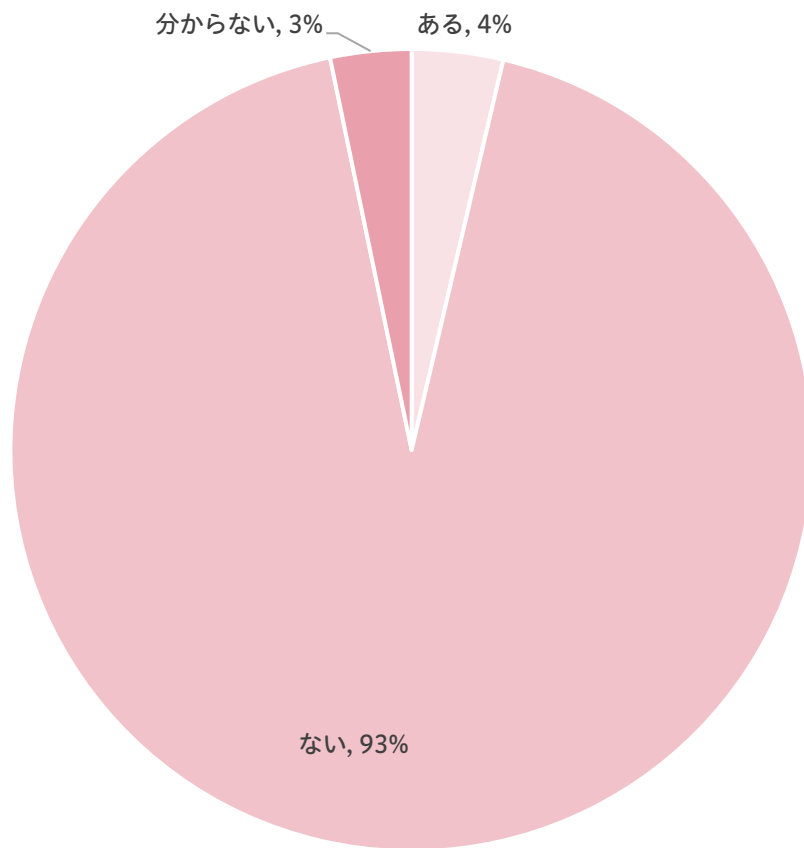
※市販薬：薬局やドラッグストアで購入できるかぜ薬やせき止め薬など



【調査結果の概要】

「ある程度知っている」(43%)が多く、「よく知っている」(41%)と続いており、オーバードーズ（過剰摂取）を知っている人は、80%を超える。

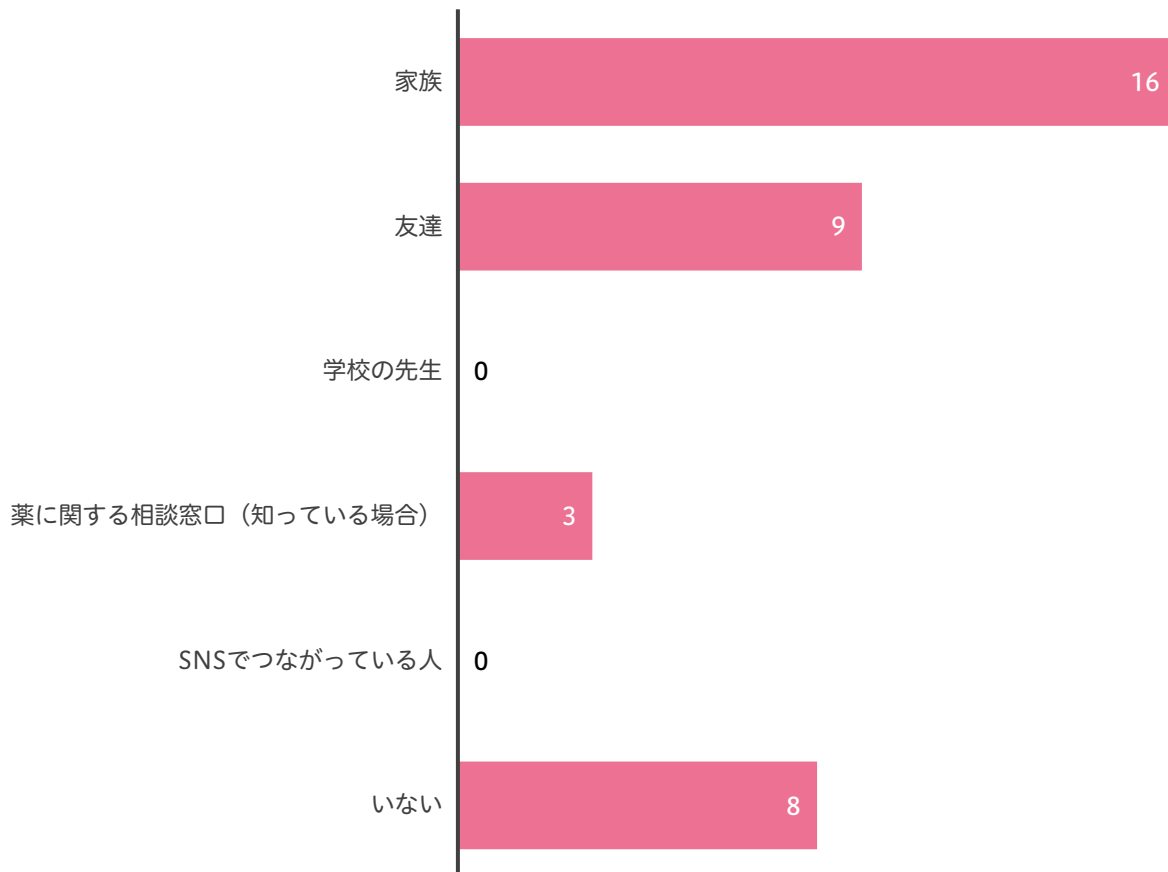
Q9.つらい気持ちや、嫌なことがあったり、なんだかもやもやしている時に、市販薬のオーバードーズ（過剰摂取）をしたいと思ったことはありますか。



【調査結果の概要】

「ない」(93%)が最も多く、以下、「ある」(4%)、「分からない」(3%)と続いている。

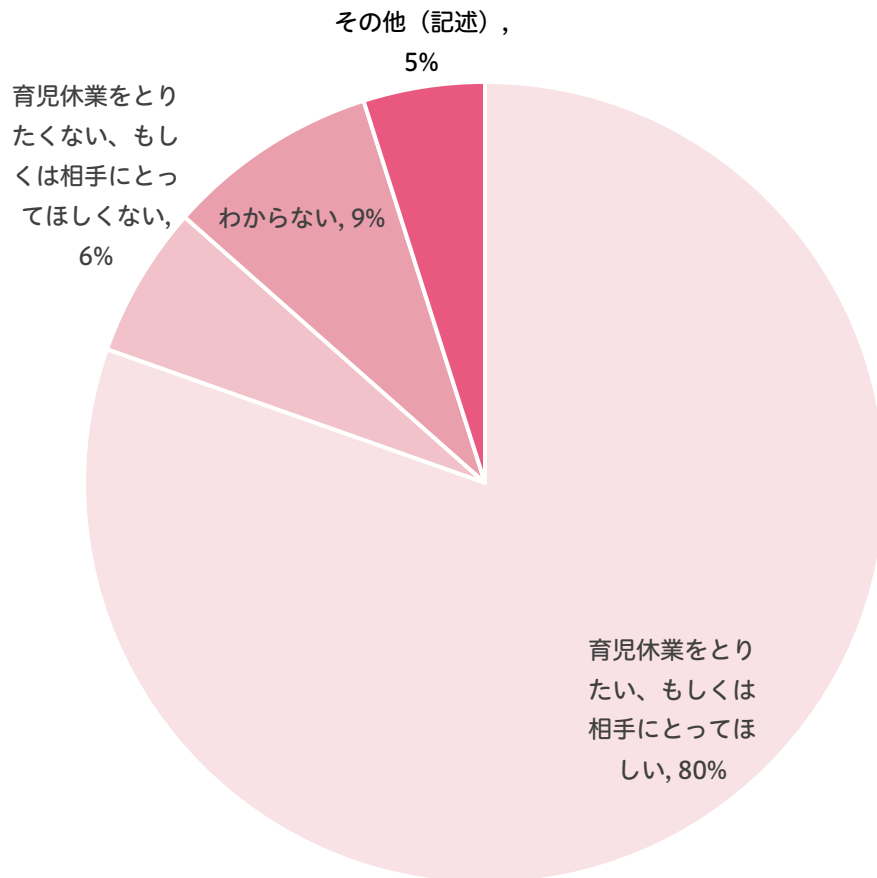
Q10.「Q9」で、「ある」と回答した方にお聞きします。市販薬のオーバードーズ（過剰摂取）をしたいと思った時に、あなたが相談できる相手を選んでください。【3つまで選んでください】



【調査結果の概要】

「家族」(16件)が最も多く、以下、「友達」(9件)、「いない」(8件)と続いている。

Q11.将来自分に子どもができたとき、男性（自分もしくは結婚相手（パートナー））が仕事を休んで育児をすること（育児休業の取得）について、今の考えに近いものはどれですか。



【調査結果の概要】

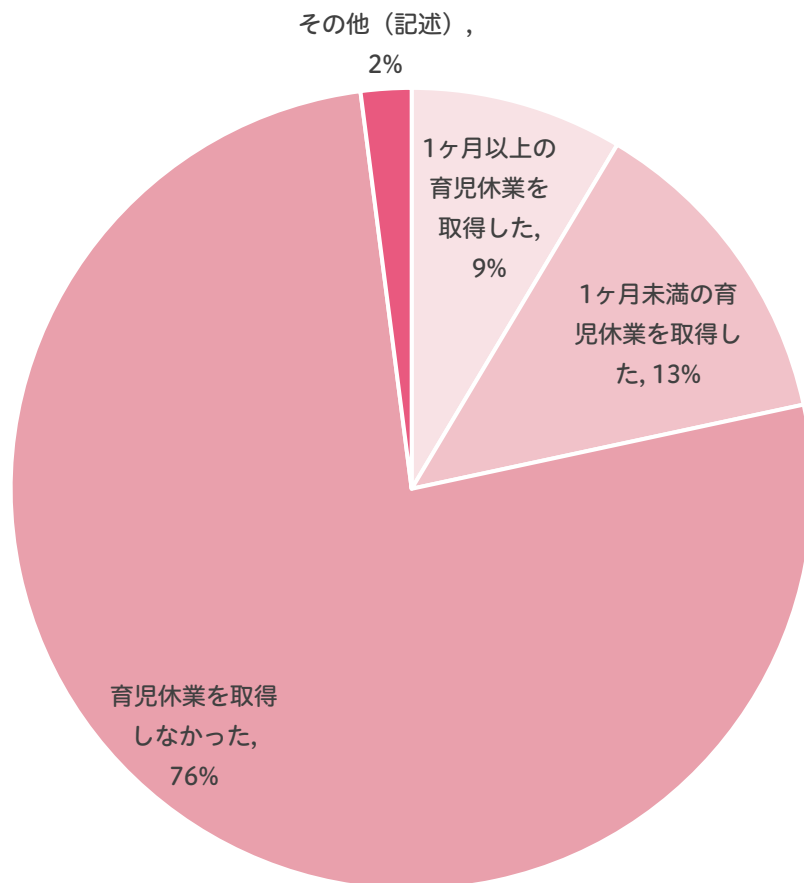
「育児休業をとりたい、もしくは相手にとってほしい」（80%）、が最も多く、以下、「わからない」（9%）、「育児休業をとりたくない、もしくは相手にとってほしくない」（6%）と続いている。

【その他の自由記述】

- ・すでに子どもがいます。これから子どもができる可能性は低いかなと思いますが、育児休業中でも給与が変わらないなど、安定していればぜひとってもらいたいなと思います。
- ・子どもを産み終えてしまったので、該当せず
- ・取りたくても給料が減額されると結局家庭にとってマイナスになる。だから取れない。
- ・育児休暇をあるかは相手に委ねています。自分の親が近い距離に住んでいるので、旦那が取らなくても育児ができるからです。
- ・育休取得済み
- ・男性と性別を決めていること自体が、前提が間違っている。
- ・取ってもらいたかったが、賞与が下がると言われ、取ってもらうのを諦めた
- ・3年間育休をとって育児に専念した。
- ・相手がとる時には自分が働きに出る

- ・ 夫は育休が明けると通常の残業あり休みが取りにくい勤務形態に戻ってしまうので育休復帰後の妻に多大な負担がかかる。子どもが中学生までは男性の時短勤務や子の看護休暇取得などを取りやすくし、長い目で男性が育児に関われるようにしてほしい
- ・ 上の子の時に育児休暇を1ヶ月取ってもらったけど、床上げ前なのに妻側の家事割合などが多く全く協力的でなかった。現在妊娠中で今回も出産後に旦那は産休を取る気ているが、正直妻としては悩んでいる。
- ・ 長期で休まなくても2日、3日に一度お休みしてもらい育児に参加してくれば女性の育児疲れは防げると思います。
- ・ 育児休業をたまに取ったり、時短勤務とかがあればいいと思う1日中や毎日いるのは逆にストレスになる時もある

Q12.これまで、こどもが生まれた際に、男性（自分もしくは結婚相手（パートナー））は育児休業を取得しましたか。



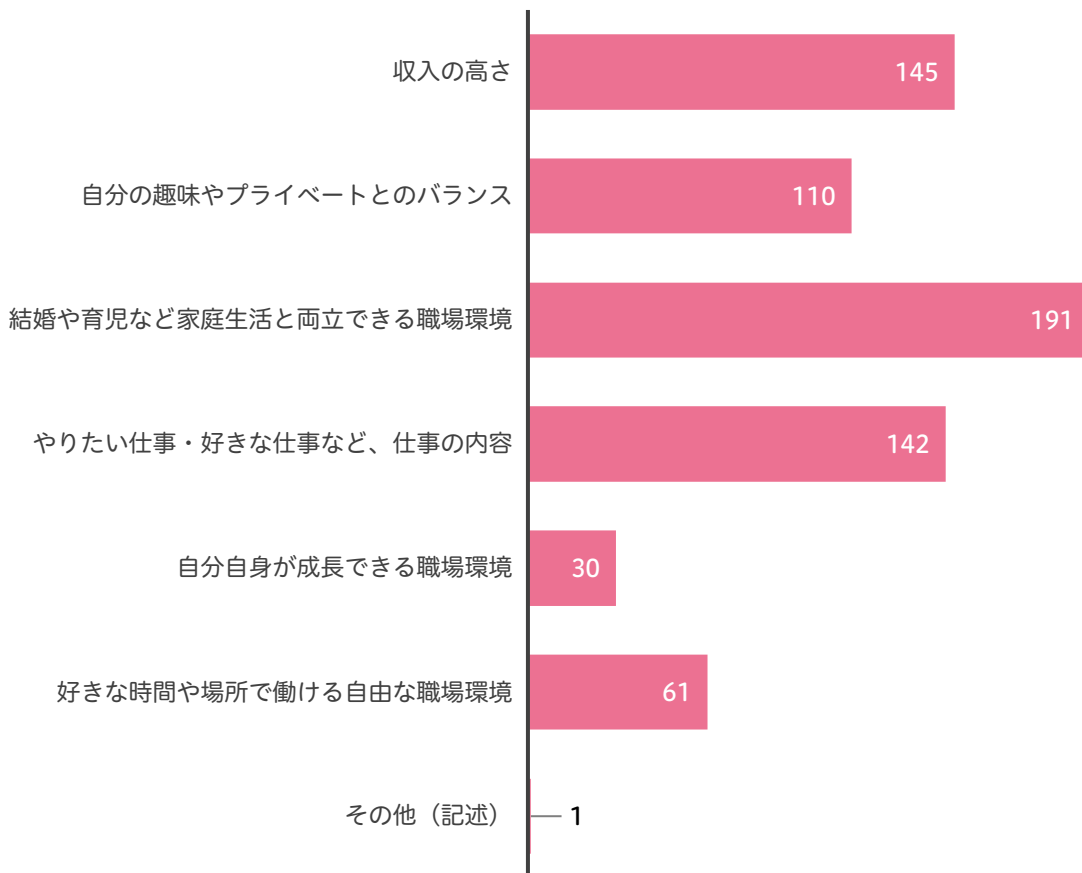
【調査結果の概要】

「育児休業を取得しなかった」(76%)が最も多く、以下、「1ヶ月未満の育児休業を取得した」(13%)、「1ヶ月以上の育児休業を取得した」(9%)と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ 自営業のため、そもそも育児休業という概念がない。
- ・ 育児休業が無かったか浸透していなかった時代の為。
- ・ 子供が生まれた当時に育休制度がなかった
- ・ 未婚で出産

Q13.仕事を選ぶうえで大切にしたいものはなんですか。【3つまで選んでください】



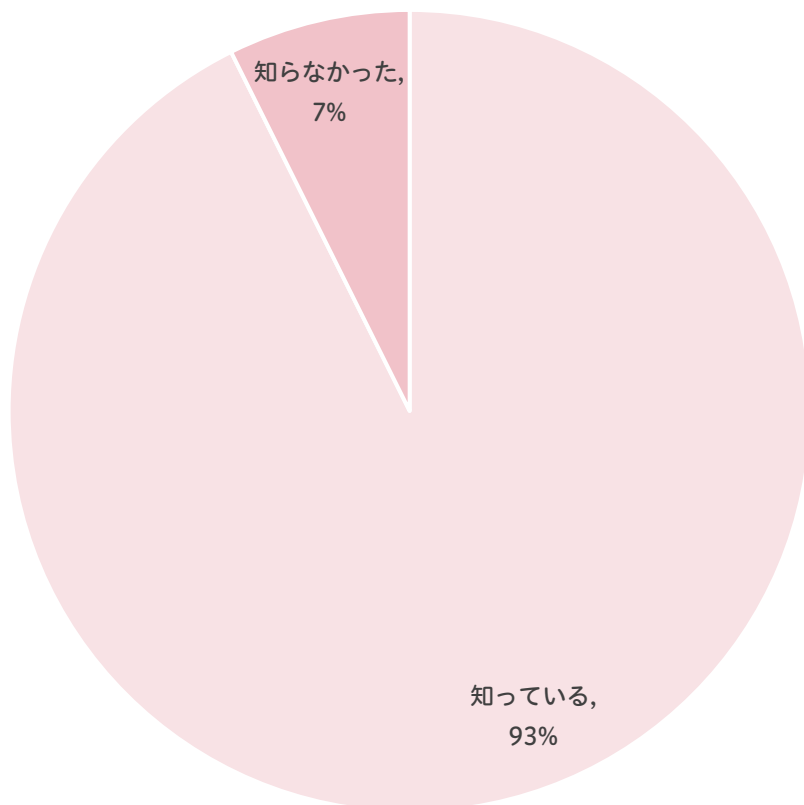
【調査結果の概要】

「結婚や育児など家庭生活と両立できる職場環境」(191件)が最も多く、以下、「収入の高さ」(145件)、「やりたい仕事・好きな仕事など、仕事内容」(142件)と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ 主人の自営業手伝い外に働きに行きたいが従業員雇わないので仕方なく

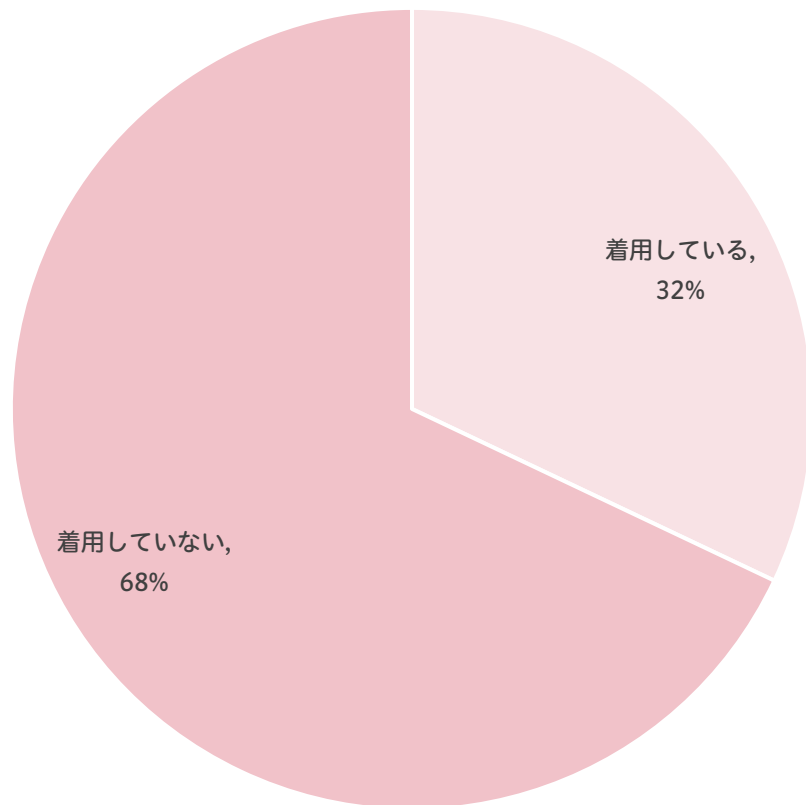
Q14.道路交通法や栃木県の条例で自転車を運転する場合は、ヘルメット着用を努めるよう規定されていることは知っていますか。



【調査結果の概要】

「知っている」(93%)と、ヘルメット着用を努めるよう規定されていることを知っている人は、90%を超えている。

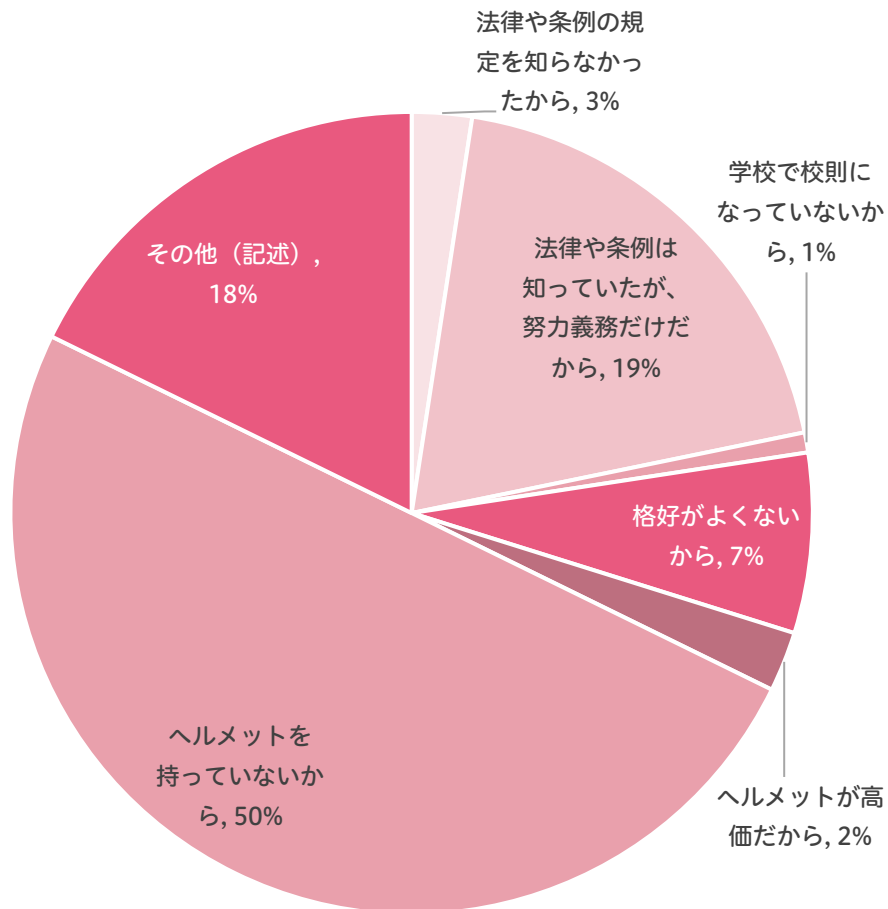
Q15.自転車を利用している方に質問です。自転車に乗るときにヘルメットを着用していますか。



【調査結果の概要】

「着用していない」(68%)、「着用している」(32%)と、着用していない人の方が多い。

Q16.「Q15」で「着用していない」と回答した方に質問です。ヘルメットを着用しない理由は何ですか。



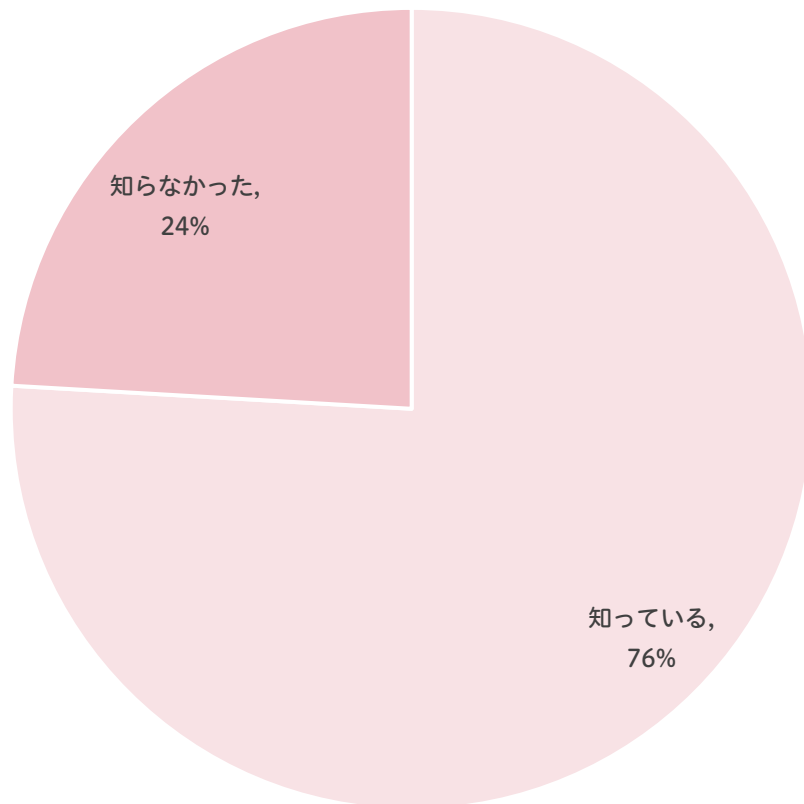
【調査結果の概要】

「ヘルメットを持っていないから」(50%)が最も多く、以下、「法律や条例は知っていたが、努力義務だけだから」(19%)、「格好がよくないから」(7%)と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ 蒸れるから
- ・ 接客業であり、頭髮の乱れが気になるのと自転車は鍵を掛けられるがヘルメットはかけられないから盗難の不安がある
- ・ 大人は努力義務で強制ではないと認識しているため、大人用のヘルメットをまだ準備していない。
- ・ 自転車を停める駅などでそのままヘルメットを置いていくと盗られそうだし、持って電車に乗るのは荷物になる
- ・ 自転車に乗らないなど 18件

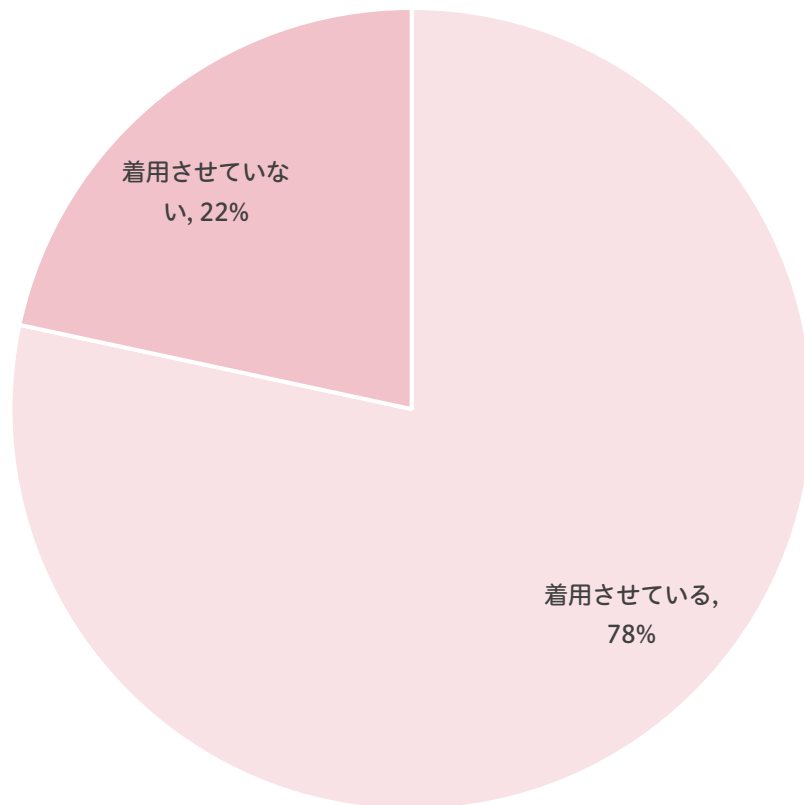
Q17.道路交通法や栃木県の条例で、未成年者に対し、その保護者が自転車ヘルメットを着用させる努力義務が規定されていることを知っていますか。



【調査結果の概要】

「知っている」(76%)、「知らなかった」(24%)と、知っている人の方が多い。

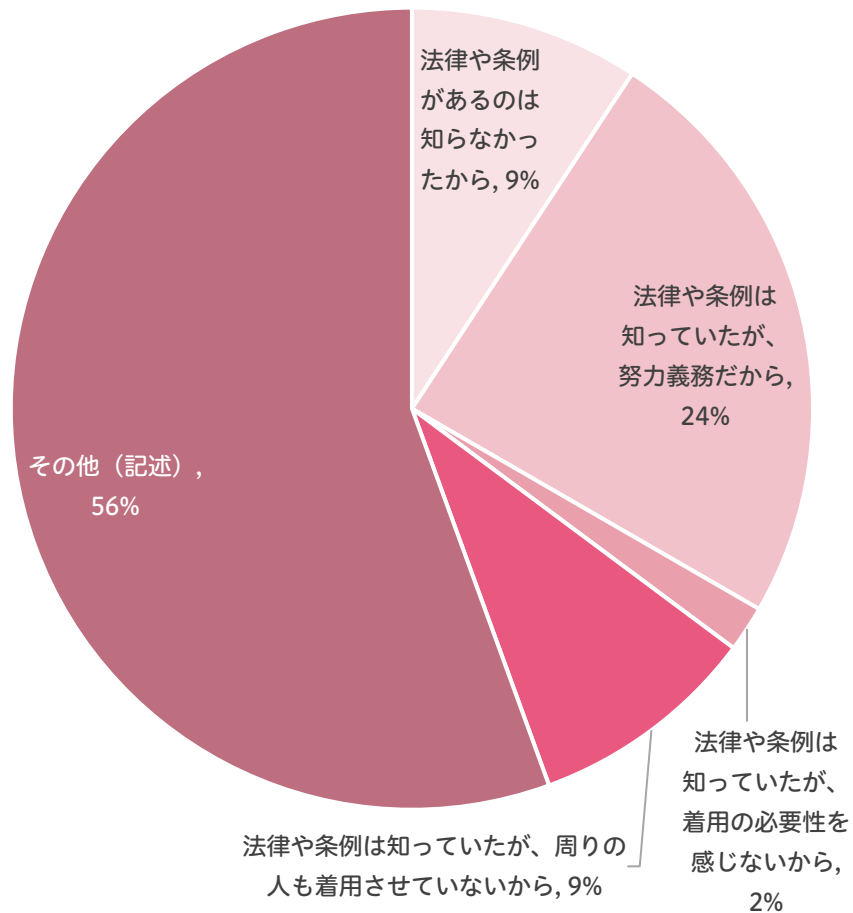
Q18.あなたのお子さんが自転車に乗る場合、ヘルメットを着用させていますか。



【調査結果の概要】

「着用させている」(78%)、「着用させていない」(22%)となっていて、約80%の人は子どもにヘルメットを着用させている。

Q19.「Q18」で「着用させていない」と回答した方に質問です。ヘルメットを着用させていない理由は何ですか。



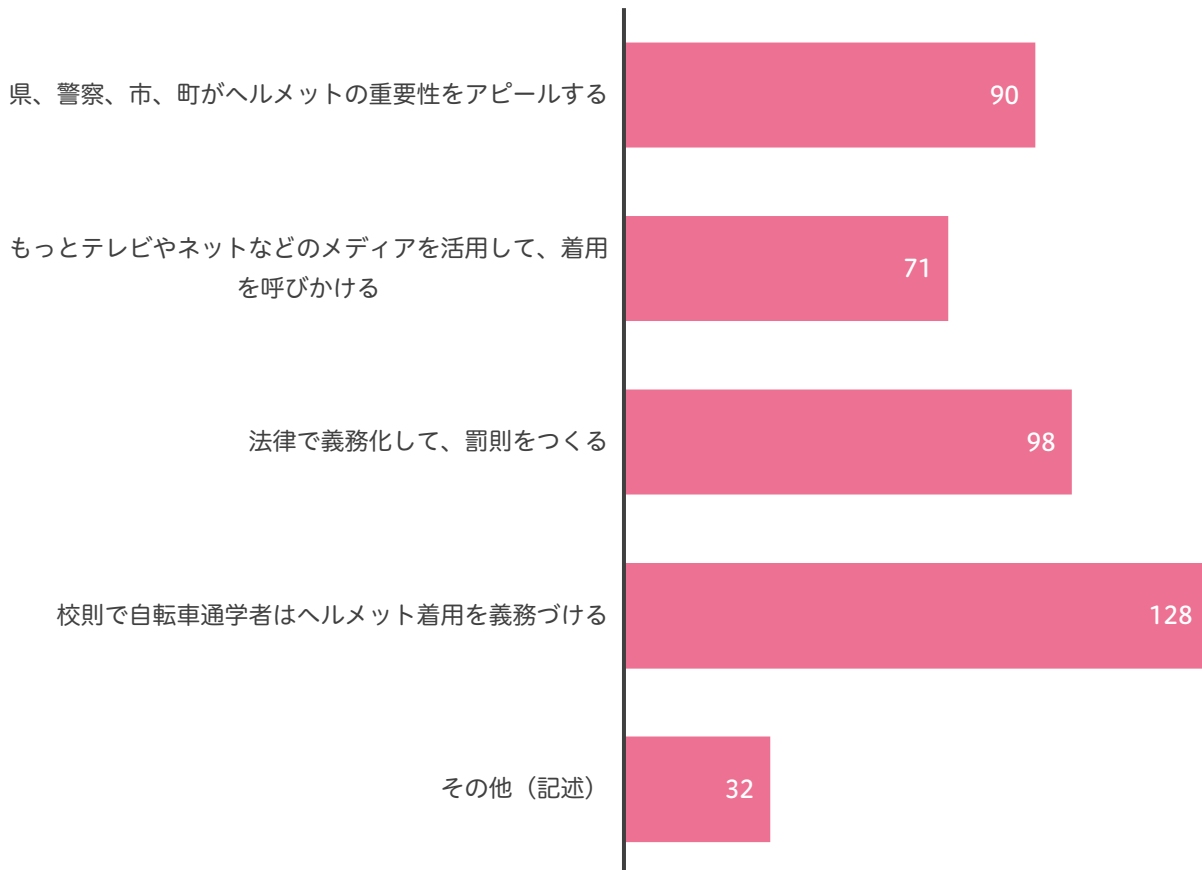
【調査結果の概要】

その他を除いて「法律や条例は知っているが、努力義務だから」(24%)が最も多く、以下、「法律や条例は知っているが、周りの人も着用させていないから」(9%)、「法律や条例があるのは知らなかったから」(9%)と続いている。

【その他の自由記述】

- まだ子供が小さく、家の周りでしか乗らないから
- 高校入学時はしていたが、暑いからかしくなった
- 本人がかぶらない
- 補助輪着いていて大丈夫かなとおもってるため
- 敷地内しか乗らないから
- 本人に任せている。
- 本人がかぶりたがらない
- まだ2才でキックボードのような乗り物。小さい子ども用のヘルメットを取り扱っている場所が近くにない。
- まだ庭で乗る程度
- 自転車に乗らない、まだ乗れないなど 21件

Q20.現在、栃木県の自転車ヘルメット着用率は高いものではありません。そこで、どうすれば、自転車に乗る人のヘルメット着用率が上がると思いますか。【2つまで選んでください】



【調査結果の概要】

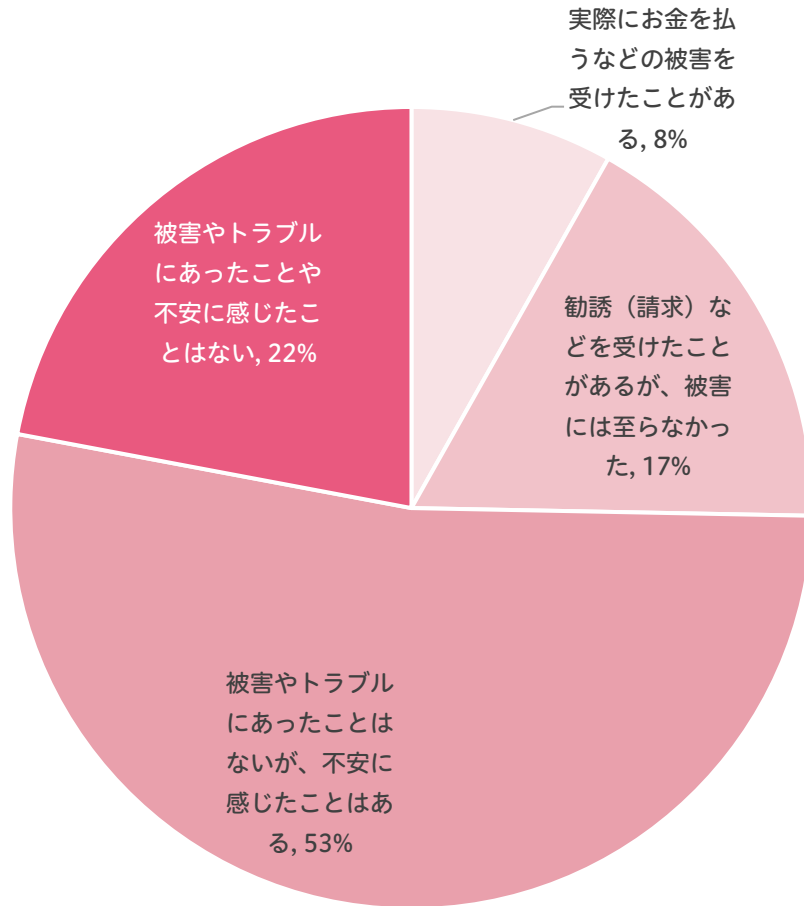
「校則で自転車通学者はヘルメット着用を義務付ける」（128 件）が最も多く、以下、「法律で義務化して、罰則をつくる」（98 件）、「県、警察、市、町がヘルメットの重要性をアピールする」（90 件）と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ ヘルメットの値段が安いなら買いたい。
- ・ おしゃれなヘルメットが安く買える
- ・ ヘルメットの購入費の負担を市で行う自転車の乗り方講習を小学校で行う
- ・ 学校の防災や交通安全教室の際にもっとアピールする。どこで素敵な自転車用のヘルメットが買えるのか、サイズ選びはどうしたらいいか子供達に伝えて欲しい。そうすれば親にもそのこと後伝わり、買ってあげやすい。
- ・ 被りたいと思えるようなデザインのヘルメットが増えるといいなといつも思っている。結局ダサいから被りたくない人が多いと思う。
- ・ ヘルメット自体の品数や種類が増えること
- ・ 法律で義務化しても、取り締まりは一時的で効果は上がらないと思います。
- ・ テレビ CM での啓発放送やドラマ出演者が積極的につけるなど着用が当たり前という風土にしていく

- ・ 自転車に乗り始める幼稚園からの徹底した呼びかけが必要。物心ついた年齢から着用させようとするから難しいのだと思う。
- ・ ヘルメットのデザインを良くする
- ・ ヘアスタイルが崩れにくい、蒸れない、装置してもダサくない等、デザイン性の高いヘルメットの流通を強化する。
- ・ 駅などに置いてても盗られないような治安になる。学校の荷物も肩が外れそうなほど重いのに、ヘルメットまで持ち歩けない
- ・ ヘルメットは必要だ、欲しいと思っけていても、予算が避けられない場合もあるかと思ひます。他県ではヘルメット購入する補助金を出すようにしたら着用率もぐっと上がったとニュースで見ました。全額負担は難しくても、上限を設けて補助金を出してもいいのではないかと思ひます。
- ・ 一人ひとり意識して、身近な人もヘルメット着用するよう声をかける
- ・ 指定ヘルメットをやめる
- ・ オシャレなデザイン、大人が率先して着用する
- ・ 着けたくなるようなかわいい、もしくはカッコいいヘルメットを流行らせる。
- ・ おしゃれなデザインのヘルメットや、髪のが崩れにくい工夫のヘルメットを作り、若い人に人気のある有名人が着けてCMなどでPRする。
- ・ なぜ努力義務になったのか、それまでの経緯を説明し各自が必要だと思ひようにさせる今までしなくてもよかつたものが、しなければならぬ事に疑問が残るようであれば、誰もしようと思ひない
- ・ 日差しよけ機能がついたヘルメットや、帽子のように見えるヘルメットなど、種類や買ひ物で見かける機会が増えれば良い。(現状では自転車専門店など限られた場所でのみ購入でき、種類も少ない)
- ・ 種類やもっと価格を抑えた商品を増やす。
- ・ ヘルメット購入費の補助金、助成金を行政が負担するなど 8件
- ・ 配布するなど 4件

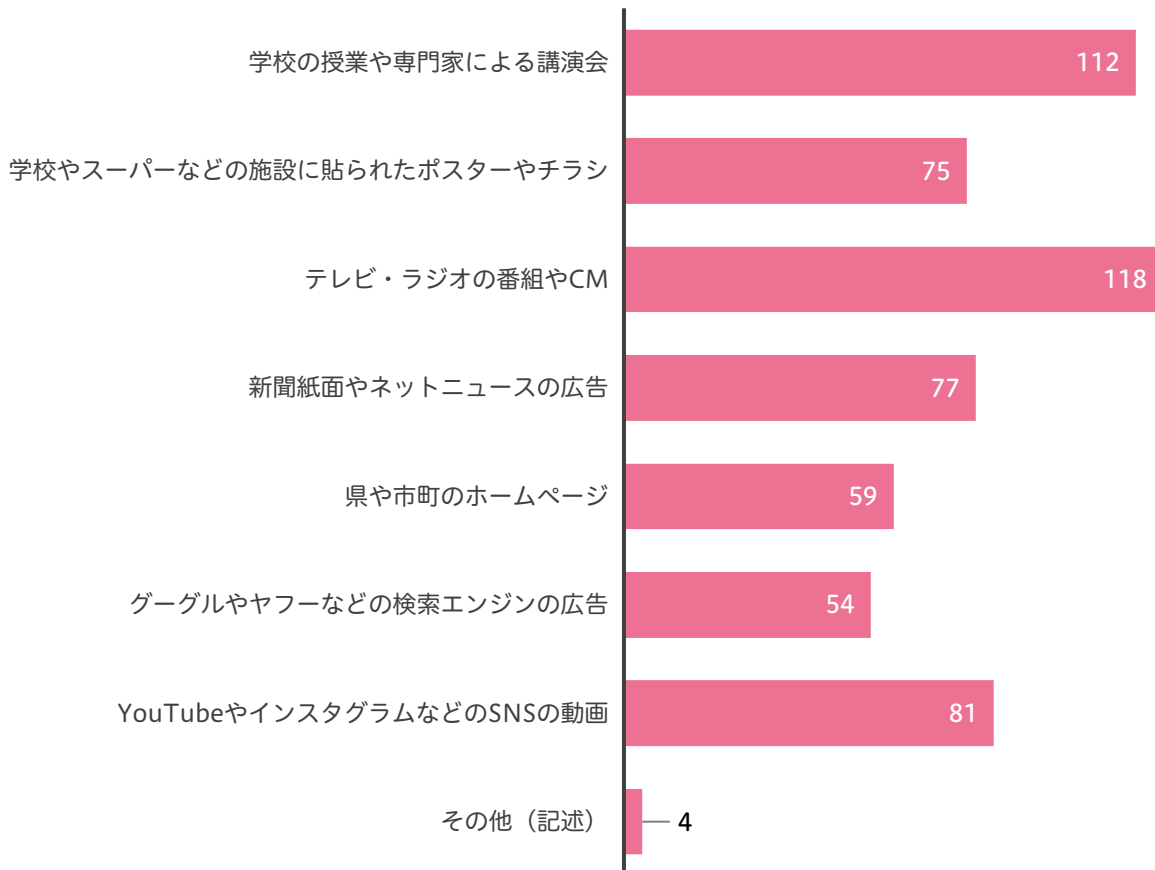
Q21.あなたは、物を買ったりサービスを受けたりする消費行動の際に、トラブルにあったり、あうかもしれないという不安を感じたことはありますか。



【調査結果の概要】

「被害やトラブルにあったことはないが、不安を感じたことはある」(53%)が最も多く、以下「被害やトラブルにあったことや不安を感じたことはない」(22%)、「勧誘(請求)などをうけたことがあるが、被害には至らなかった」(17%)と続いている。

Q22.あなたは、物を買ったりサービスを受けたりする消費行動でトラブルにあわないための知識や対策を、どのような方法で入手できると良いと思いますか。【3つまで選んでください】



【調査結果の概要】

「テレビ・ラジオの番組やCM」(118件)が最も多く、以下、「学校の授業や専門家による講演会」(112件)、「YouTubeやインスタグラムなどのSNSの動画」(81件)と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ 自分自身で考え判断する
- ・ 自分で気をつける
- ・ 友人知人からの情報(実際に被害に遭った人がいれば話を聞くのが一番いいと思う)
- ・ YouTubeでの広告